

相互自己シート(MDS発展B)

評価した日

年 月 日

フォームにも入力してください

年 組 番 氏名

●テーマ設定について

	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
1-1	何を調べようとしているのか不明瞭。調査方法の実現が難しいものだった。	テーマが広すぎる、または自分なりの視点が弱く、どこを深めたいのかが分かりにくかった。	目的や関心がある程度伝わるテーマになっている。テーマの焦点がやや広いが自分なりの方向性を示せた。	なぜこのテーマに取り組むのか目的が明確。テーマが具体的に、独自性があった。
1-2	個人的な興味、好奇心、感想だけで完結していて、社会とのつながりは見いだせなかった。	なんとなく社会との関係はありそうだが、誰に役立つのかははっきり見えなかった。	テーマと社会の関係について、ある程度のつながりを見つけることができた。	探究内容が、社会への提案・貢献につながる可能性があると考えられるテーマだった。
A. このテーマを設定した理由				
B. このテーマの意義をどう考えている？				

●情報収集について

	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
2-1	情報収集の量が少ない。ネットの検索だけに頼り、本や信頼できる情報源を使えなかった。	情報源に限られており、信頼性の低いサイトや個人ブログ、アンケートが中心になった。	書籍、公的なデータを含む複数の情報を入手。または、サンプルを自作してデータを収集した。	書籍、公的なデータ、学術論文、専門家の意見（観察、体験）等を組み合わせて情報を入手。サンプル自作など複数のデータを収集した。
2-2	先行研究を調べていない。あるいは調べたが活用することができなかった。	先行研究に一部触れているが、理解や活用が表面的で深く結びついていなかった。	先行研究に触れているが、部分的な活用にとどまった。	先行研究を比較・整理して、自分の探究との違いや関係を深く考えることができた。
C. どんな資料を使った？				
D. 工夫したところは？				

●分析・考察について

	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
3-1	データや結果をそのまま書いてだけで、自分の考察がほとんど含まれていなかった。	情報やデータを十分に分析せず、結果をただ説明しただけに留まった。	調査結果や情報をもとにして自分なりの考察をまとめることができた。	データや調査結果をもとに、事実と自分の意見を区別して整理できた。
3-2	「～と思った」「～と感じた」など、感想だけで終わってしまった。	自分の考えと事実が混ざっており、主観的な表現が目立った。	自分の意見を、ある程度根拠に基づいて述べることができた。	自分なりの視点や問いを大切にし、なぜそうなるのかを掘り下げて考えることができた。
3-3	結果の意味や理由を深く考える視点が欠けていた。	なぜそうなるのか、因果関係や背景に関する考察が十分ではなかった。	解析に統計処理を取り入れた。浅い考察もありが、全体としては考察として成立させることができた。	解析に統計処理を入れたほか、複数の要因や他者の視点も取り入れ、多角的に分析・考察することができた。
E. 探究を通して気付いたことは？				

●資料・発表について

	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
4-1	イラストが不必要に大きい。フォントやレイアウトの吟味が不十分で余白が目立った。	グラフや表を活用したが、全体のバランスとつりあっていないと感じた。	グラフや表が一部見づらかった。フォント、レイアウトなどデザインは統一できた。	グラフや表が視覚的に見やすく、フォント、レイアウトなどデザインも統一できた。
4-2	出典を示していないため、他者の資料を無断使用している可能性を指摘されそう。	出典が不明な図や文章があり、引用ルールの理解が不十分だったかもしれない。	一部抜けはあるが、概ね出典の記載をした。	使用した画像・図表・文献の出典がすべて明記した。
4-3	原稿（発表資料）ばかり見て発表をしてしまった。声量も小さく、聞き取りづらかったかもしれない。	聴きやすい発表を心がけたが、原稿（発表資料）ばかりをみて発表してしまった。	原稿（発表資料）ばかりを見ず、聴衆に伝えようとする意識をもって発表できた。	聴衆の反応をみて、探究内容を楽しく、しっかり伝えようとする姿勢で発表できた。
F.良かったこと、嬉しかったことなど（自由記述）				

相互評価シート(MDS発展B)

- ・取扱いには注意してください
- ・内容をフォームに入力してください

					発表者 (クラス番号を4桁で)					
					1 ****	2 ****	3	4	5	6
●テーマ 設定について		レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4					
	1-1	何を調べようとしているのか不明瞭。調査方法の実現が難しそう。	テーマが広すぎる、または自分なりの視点が弱く、どこを深めたいのかが分かりにくい。	目的や関心がある程度伝わるテーマになっている。テーマの焦点がやややが広いが自分なりの方向性が見える	なぜこのテーマに取り組むのか目的が明確。テーマが具体的であり、独自性もある。	3	2			
	1-2	個人的な興味、好奇心、感想だけで完結していて、社会とのつながりが見えてない。	なんとなく社会との関係はありそうだが、誰に役立つのかがはっきり見えてない。	テーマと社会の関係について、ある程度のつながりを見つけれられている。	探究内容が、社会への提案・貢献につながる可能性があると考えられている。	3	2			
●情報 収集について	2-1	情報収集の量が少ない。ネットの検索だけに頼り、本や信頼できる情報源を使っていない。	情報源に限られており、信頼性の低いサイトや個人ブログ、アンケートに依存していることがある。	書籍、公的なデータを含む複数の情報入手。または、サンプルを自作してデータを収集している。	書籍、公的なデータ、学術論文、専門家の意見（観察、体験）等を組み合わせて情報を入手。サンプル自作など複数のデータを収集している。	3	1			
	2-2	先行研究を調べていない。あるいは調べたが活用の跡がみえない。	先行研究に一部触れているが、理解や活用が表面的で深く結びついていない。	先行研究に触れているが、部分的な活用にとどまっている。	先行研究を比較・整理して、自分の探究との違いや関係を深く考えている。	3	2			
●分析・ 考察について	3-1	データや結果をそのまま書いただけで、自分の考察がほとんど含まれていない。	情報やデータを十分に分析せず、結果をただ説明しただけに留まっている。	調査結果や情報をもとにして自分なりの考察をしている。	データや調査結果をもとに、事実と自分の意見を区別して整理できている。	3	1			
	3-2	「～と思った」「～と感じた」など、感想だけで終わっている。	自分の考えと事実が混ざっており、主観的な表現が目立つ。	自分の意見が、ある程度根拠に基づいている。	自分なりの視点や問いを大切にし、なぜそうなるのかを掘り下げて考えている。	4	2			
	3-3	結果の意味や理由を深く考える視点が欠けている。	なぜそうなるのか、因果関係や背景に関する考察が十分ではない。	解析に統計処理がなされている。浅い考察もありが、全体としては考察として成り立っている。	解析に統計処理がされているほか、複数の要因や他者の視点も取り入れ、多角的に分析・考察できている。	4	2			
●資料・ 発表について	4-1	イラストが不必要に大きい。フォントやレイアウトの吟味が不十分で余白が目立つ。	グラフや表を活用しているが、全体のバランスとつりあっていない。	グラフや表が一部見づらいうが、フォント、レイアウトなどデザインは統一されている。	グラフや表が視覚的に見やすく、フォント、レイアウトなどデザインも統一されている。	3	3			
	4-2	出典を示していないため、他者の資料を無断使用している可能性がある。	出典が不明な図や文章があり、引用ルールの理解が不十分である。	一部抜けはあるが、概ね出典の記載をしている。	使用した画像・図表・文献の出典がすべて明記している。	3	2			
	4-3	原稿（発表資料）ばかり見て発表をしている。声量も小さく、聞き取りづらい。	発表は聴きやすいが、原稿（発表資料）ばかりをみて発表している。	原稿（発表資料）ばかりを見ず、聴衆に伝えようとする姿勢がある。	楽しそうに発表している。聴衆の反応をみて話しており、伝えようとする姿勢がある。	3	4			